



創 立	昭和 32 年 4 月 19 日
会 長	平 田 博 也
会長エレクト	辻 田 真 海
副 会 長	松 井 大 典
幹 事	尾 上 隆 志
公共イメージ	島 田 昌 則



事務局（例会場）

榎原市久米町 652-2 THE KASHIHARA 4F
TEL/0744-28-2801（直通）
FAX/0744-28-2802
E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp
TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

金 曜 日
12 時 30 分～13 時 30 分

Vol.66 No.20 (2022-23)

2023(令和5)年1月27日発行

T 8 2 . 2 \ M 5 8 . 3 ↓

1月は、「職業奉仕月間」(Vocational Service Month)です。

第 3137 回例会報告書

2023 (令和 5) 年 1 月 20 日

司会 副 SAA・山田善紀会員
R.song 我らの生業
ソング・リーダー 中井美和会員

ゲ ス ト

卓話講師：MSIN 株式会社

WEB マーケティング事業部 松下英人氏

講師随行：杉本英紀氏

出 席 報 告

会員 53 名

(1/20) 出席者 27 名 出席率 57.4%
(12/23 補正) " 29 名 " 62%

ニ コ ニ コ 箱

◎本日、卓話担当です。よろしくお願ひ致します。

.....仲谷 登会員

◎誕生日お祝い 尾田肇睦会員 (1/26)

会 長 挨拶

○時が経つのは早いもので、もう 1 月も半ばを過ぎました。まだ今年度も後半が始まったばかりですが、本日、第 1 回目の次年度理事会が開催されました。今後、辻田会長エレクトのもと、次年度に向けていろいろと計画を練って進んでいくことと思います。

今年度もまだまだ事業が控えており、担当委員長が実施に向けて一生懸命動いて頂いています。目玉となる 3 委員会合同事業では、榎原市と、創業者が榎原市出身である株式会社カプコンと共同で壁画の制作を行うということも進めています。我々だけではなく、地域と共に、また大きな企業と共に大きな事業を行い、榎原としての、またロータリーとしての知名度が上がることを期待しています。まだ少し先のことでありますが、いろいろと決めなければならないこともたくさんありますので、担当となる委員長をはじめ委員会の皆様にはご協力をよろしくお願ひ致します。

四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

今日は大寒で、暦通り来週からは非常に強い寒波が到来するそうです。来週は「100%出席例会」で、刀根パストガバナーが福井からお越しになります。寒波の影響で電車が止まらないか少し心配ですが、来週は多くの皆様と共に盛大に刀根パストガバナーをお迎えしたいと思いますので、ご出席頂きますようよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

△次週 1 月 27 日 (金) は 100%出席例会です。出席率 100%を達成できるよう、皆様のご出席をよろしくお願い致します。また、皆様のメール BOX にポスティングされている「ガバナー月信」1月号に、10 月の会員の増減や例会出席率が掲載されています。当クラブは地区内で下から 2 番目の出席率になっています。少しずつ少しずつ、出席率も上げていきたいと思ひますのでよろしくお願い致します。

委 員 会 報 告

○プログラム委員会：豊田博樹委員

・100%出席例会について

来週はいよいよ刀根荘兵衛パストガバナーをお迎えしての「100%出席例会」です。コロナの感染者数も増えつつありますが、体調にお気を付け頂き、是非ご出席頂きますようよろしくお願い致します。

○出席・ニコニコ箱・ソング委員会：杉本行彦委員長

・地区大会について

日程：4 月 9 日 (日)

場所：ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)、
びわ湖大津プリンスホテル

以前よりご案内をさせて頂いています通り、例会扱いとなっていますので一人でも多くの方のご出席をよろしくお願い致します。なお本日、入会 3 年未満の皆様には「新会員セミナー」のプログラムをポスティングしていますのでご覧ください。

卓 話

担当：社会奉仕委員会 仲谷 登委員長
講師：MSIN 株式会社 WEB マーケティング事業部
松下英人氏



「コロナ禍で変化した働き方 ～加速する業務のデジタル化～」

今回のコロナ禍で、デジタル化の新技术の導入がこれまでにない速さで進み、10年分の大転換が起きたともいわれています。私たちの日常生活では、非接触での接客、非接触での配送、キャッシュレスや無人店舗、オンラインスクール、オンラインショッピングなど、あらゆる生活の側面が変貌を遂げました。

しかし、日常生活での変化とは反して、仕事においてデジタル化が進んでいない企業がたくさん存在しています。個人事業者や中小企業の経営者は、皆さま口をそろえて、業務におけるデジタル化は、自分達とは関係ないと考えておられます。

さて、本当にそうでしょうか？

デジタル化は関係ないのではなく、デジタル化の必要性や利便性を理解していないから、導入できていないということではないのでしょうか？

デジタル化を導入しないことが今後どういう影響を与えていくのか？

時はさかのぼり、第1次産業革命以前、イギリスの織物工業地帯では多くの労働者が手動の織機を使用し、職を得ていました。しかし、18世紀半ばから19世紀にかけてイギリスで起こった「第一次産業革命」により織機の機械化が進み、機械を使って商品を大量に生産できるようになり、多くの職人は機械にとって代われ、職を失いました。

機械の導入によって、失業するという脅威にさらされた職人達は、その対抗策として、機械を破壊するという行動、【ラッドライト運動】をおこしました。その結果、どうなったのか？もちろん、その運動は失敗に終わりました。

人類の歴史を振り返ると、新しい技術を封じ込めて、これまでのやり方を維持しようとする試みはすべて失敗に終わっています。

人類は、豊かになり、便利になると、後戻りができない後戻りを望まなくなります。それゆえに、進化を止めることは難しくなります。

現在、第4次産業革命の真ただ中、世界中の人々の暮らしや働き方に大きな影響を与え、どんどん便利になっている世の中、生活やお客様の利便性を重視せず、デジタル化を拒み、取り残された企業や人がどんな運命を辿るかは、歴史を見れば明らかだと思います。

デジタル化で便利になる一方、AI（人工知能）やIoTが進化したとは言え、AI（人工知能）では行えない領域はいまだに存在します。それはコミュニケーション能力が問われる仕事です。AI（人工知能）はまだ、人間の細かな感情を理解することができません。だからこそ、単純労働の業務などはAI（人工知能）化を進め、AI（人工知能）では実現できない、よりクリエイティブなことに人間の能力や時間、資金を割くことが必要です。

これまで人が携わってきた業務の一部をAI（人工知能）に代替することで、業務効率・生産性向上が期待されます。それは、企業にとっても大変有益なことでしょう。それを拒み、AI（人工知能）によって置き換えられる働き方を選択するか、それとも今からコミュニケーション能力などAI（人工知能）が持っていない能力を鍛えていくかの選択肢は一人ひとりに委ねられています。

今後、少子高齢化の進行で人口減少がやってくるのは間違いありません。企業にとって、大切なのは【人】です。その人をどう活かし、AI（人工知能）が普及した社会でも生き残るため、生き残る企業にするために、今から何に取り組み、企業の能力を高めていくかは、経営者の方にかかっているのではないのでしょうか？

【例会ご案内】

2月3日（金）《第1例会》

新入会員自己紹介

担当：会員増強委員会

2月10日（金）

休会

2月17日（金）《第2例会》

担当：国際奉仕委員会

2月24日（金）《第3例会》

やまとまほろばRCとの合同夜間例会

ホスト：檀原RC

担当：プログラム委員会

3月3日（金）《第1例会》

担当：プログラム委員会

【同好会】

書道同好会

1月27日（金）・2月3日（金）・17日（金）・

3月3日（金）・10日（金）・4月14日（金）

午後2時～ 於：4階 楓の間

【RAC例会】

〔檀原オークホテルにて、午後7時30分～9時〕

2月8日（水）《第1例会》

国際奉仕③

2月22日（水）《第2例会》

財務①

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。